

## 据付点検要領書

据え付ける前に、この据付点検要領書をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。

本書はハーフサイズリモコン用です。組み合わせられる室内ユニット付属の据付点検要領書も合わせてご参照ください。

お願い：この書類は次の工事をされる方へ必ず引き継いでお客様に保存してもらってください。  
(据付工事) → (配線工事) → (試運転) → (お客様)

### はじめに

この製品は国内一般空調用エアコンのリモコンスイッチです。

- リモコンスイッチの取付場所は、エアコンの運転操作に便利な場所をお選びのうえ、お取り扱いになるお客様のご了解を得て決めてください。また次のような場所への設置はしないでください。
  - 油（機械油も含む）の飛沫・蒸気の多い場所、温泉地などの硫化ガスの多い場所（発火、火災および機器の変形、腐食、破損の原因になります。）
  - 海岸地帯の塩分の多い場所、酸性またはアルカリ性の雰囲気のある場所（腐食の原因となることがあります。）
  - 子供の手が届く場所 ○ エアコンからの吹出風が直接あたる場所 ○ 湿気の多い場所
- 病院などで電磁波を発生する医療機器などを使用する場所に設置する場合は、エアコンの誤動作防止のため、電磁波の発信面をリモコンスイッチに直接向かわない位置に据え付けてください。
  - 電磁波の空中伝播の影響をさけるため、電磁波を発信する機器、ラジオなどは、エアコンより少なくとも3m以上離してください。
  - リモコンスイッチを鉄製の箱に、またケーブルを鉄製のコンジットパイプに収納し、シールドしてください。
  - ユニットの電源にノイズが発生している場合は、ノイズフィルタを取り付けるなどの処置が必要です。
- リモコンサーモ機能をご使用される場合は、下記を考慮して取付場所を選定してください。また、リモコンスイッチ表面に貼り付けてある保護シートを剥がしてください。
  - 部屋の平均的な温度が検知できる場所 ○ 直射日光があたらない場所 ○ 近くに熱源がない場所
  - ドアの開閉などによる外気の影響を受けない場所

### 安全のために必ずお守りください。

- ご使用前にこの「安全のために必ずお守りください。」をよくお読みのうえ、据え付けてください。
- ここに示した注意事項は「**△**警告」、「**△**注意」に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡および重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「**△**警告」の欄にまとめて掲載しています。しかし、「**△**注意」の欄に掲載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。いずれも安全に関する重要な内容を掲載していますので、必ずお守りください。
- 据付工事完了後、試運転をおこない、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの方法を説明してください。またこの据付点検要領書は取扱説明書とともにお客様で保管頂くように依頼してください。

### 【記号の意味】

- △** 警告：作業を誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定できる場合を示します。
- !** 強制事項を示します。特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示です。
- ⊘** 禁止事項を示します。

### ■ 据付について ■

- △** 警告 ● 据付工事はこの据付点検要領書に従って、リモコンスイッチの重量に十分耐える所に確実におこなってください。強度不足や取り付けが不完全な場合は、感電、火災および落下によるケガの原因になります。
- 可燃性ガスの発生、流入などの恐れがある場所には据え付けしないでください。発火および火災の原因になります。

### ■ 電気工事について ■

- △** 警告 ● 電気工事をするには資格が必要です。資格のあるお店に依頼してください。ご自分で電気工事をされ不備があると、感電の原因になります。
- 電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付点検要領書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
- 室内ユニット～リモコンスイッチ間の接続は所定のケーブルを使用してください。ケーブルの誤選定は火災や感電の原因になります。
- 電気配線作業、点検などで室内ユニットのサービスカバーを開閉する時には電源を完全に切ってからおこなってください。感電の原因となります。

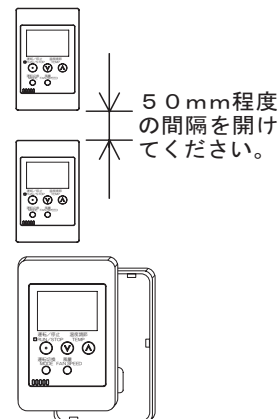
□はチェック用です。点検を完了したもからチェックマークを入れてください。

## 1. 据付工事

□ 下記部品が梱包されていますので、据付前にご確認願います。

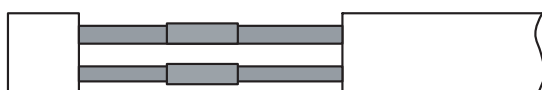
- ハーフサイズリモコン……………1 取付ネジ (M4 × 1.6 mm) ……2
- コネクター付ケーブル……………1 取扱説明書……………1

□ リモコンスイッチおよび他のコントローラを縦方向に並べて据え付ける場合は、上下の取付間隔を50mm程度開けてください。隙間なく据え付けた場合、リモコンスイッチの取り外しができなくなります。



### 【据付要領】

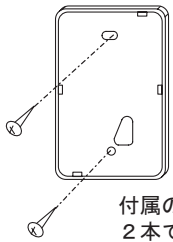
- 1) 本体と取付ベースを分離します。
- 2) ケーブルの接続  
ケーブルに付属のコネクター付ケーブルを半田付けなどで接続してください。



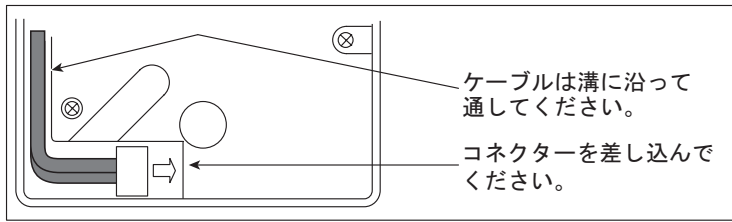
(接続部はビニールテープなどで絶縁してください。)

□3) 取り付けベースの固定方法

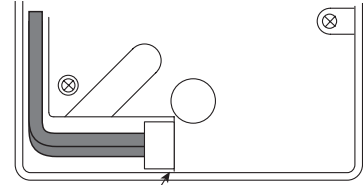
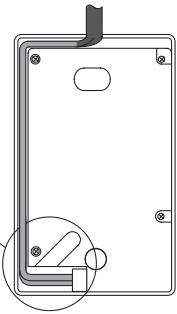
A. ケーブル露出の場合



付属の木ネジ  
2本で固定し  
てください。

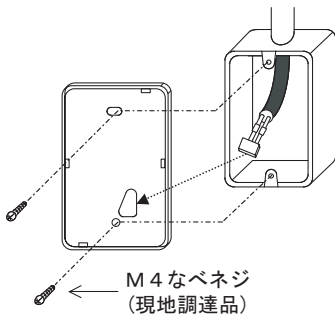


ケーブルは溝に沿って  
通してください。  
コネクタを差し込んで  
ください。



コネクタを差し込んでください。

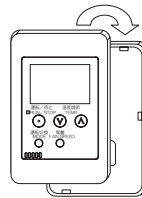
B. ケーブル埋込の場合



M4なベネジ  
(現地調達品)

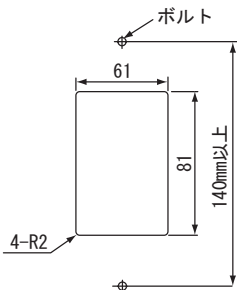
JISボックス  
(JIS C8336-1988)  
・スイッチボックス1個用  
(カバーなし)

- 4) 取付ベースに本体をはめ込みます。  
先の上側からはめ込んでください。  
また、はめ込み時にはケーブルをはさみこまないように  
ご注意ください。



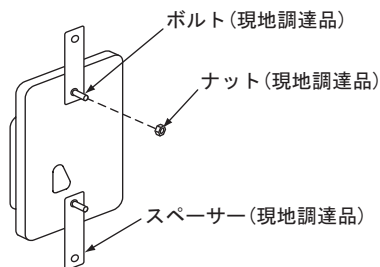
C. ナイトテーブル取付の場合

- ① 下図のようにリモコン露出用の取付穴、および取付ボルトを準備します。

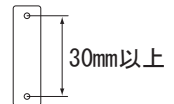


**注意** 取付ボルトは、スペーサー（現地調達品）に合わせて取付位置を決めてください。

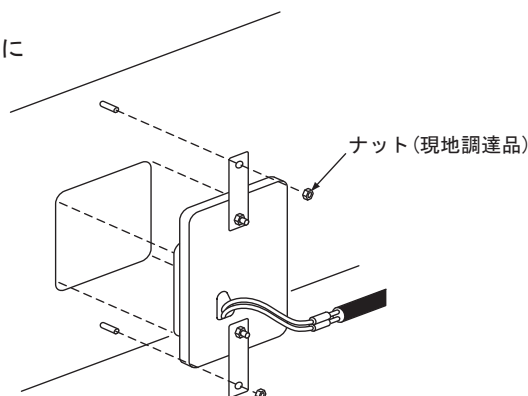
- ② 取付ベースにボルトを取り付けスペーサーをナットで固定します。



**注意** スペーサーの穴位置は30mm以上確保してください。

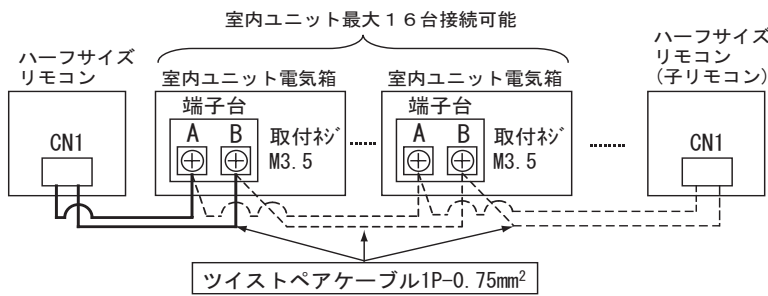


- ③ 前面化粧カバーを取り外し、取付穴にリモコンスイッチを取り付けます。

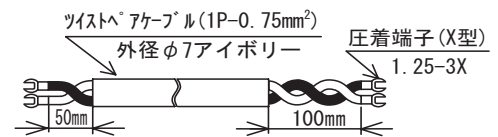


## 2. 配線接続要領

注) 配線作業は、必ず室内ユニットの電源を遮断した状態で行ってください。電源を投入したまま作業を行うと室内プリント板、リモコンスイッチの故障の原因となります。



### ●別売延長ケーブル (型式PRC-□K)



□はケーブル長(m)を示します。  
 (□=2, 3, 5, 8, 10, 15, 20, 30, 50, 75, 100)  
 30(m)以上は受注生産品となります。  
 発注先: 最寄りの日立アプライアンス(株)各支店

注意

- ケーブルは0.3～0.75mm<sup>2</sup>のケーブルを使用してください(総配線長30mまで)。総配線長が30mを超える場合は、ツイストペアケーブル(1P-0.75mm<sup>2</sup>)をご使用ください(総配線長200mまで。コントロールタイマーと併用する場合は総配線長100mまで)。その他のケーブルを使用した場合、ノイズ等の影響による誤動作の原因となります。
- リモコンケーブルおよび室内ユニット間の渡り配線用ケーブルは、電源配線と30cm以上離して配線してください。
- 30cm以内に配線する場合は、ケーブルを鉄製の電線管に入れ電線管の片端をD種接地してください。本処置をしない場合、電源ノイズの影響により、エアコンが誤動作したり、故障が発生する場合があります。
- 複数台の室内ユニットを同時制御する場合、冷媒システムアドレス、室内ユニットアドレスの設定を行ってください。特に複数冷媒システムの室内ユニットを同時制御する場合、冷媒システム設定、室内ユニットアドレスのどちらも行わない場合、アドレス重複により伝送異常となります。
- リモコンスイッチ～室内ユニットの配線作業、および室内ユニットのアドレス設定については、室内ユニット付属の据付点検要領書をご参照ください。
- リモコンケースのケーブル貫通部分に隙間がある場合は、ビニールテープ等で補修して隙間のないようにしてください。水滴や虫がリモコンケースに入り、故障の原因となります。
- 2リモコン(親子リモコン)で制御する場合は、4項の手順にしたがってリモコンスイッチの機能選択で親/子の設定をしてください。この場合、設定後一旦リモコンスイッチに接続されている全室内ユニットの電源を遮断してください。

## 3. 点検要領

ハーフサイズリモコンには試運転の機能はありません。  
 試運転は室外ユニットから行ってください。

- 1) 電源を入れる。  
 全ての室内ユニットの電源を入れてください。
- 2) 自動アドレス機能を有する機種の場合、自動アドレスが行われますので3分程お待ちください。  
 (設定状況により5分程度必要とする場合もあります。)
- 3) 試運転モードにする。  
 室外ユニットから試運転操作を行ってください。
- 4) 試運転モードの解除  
 以下の方法で、試運転モードを解除してください。
  - ・ 試運転開始後2時間経過すると、自動的に停止して試運転が解除されます。
  - ・ 室外ユニットから試運転を解除。
  - ・ ハーフサイズリモコンから停止操作を行う。

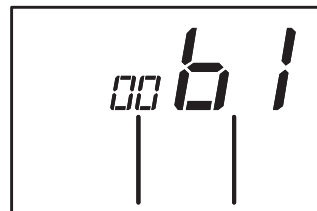
★接続した室内ユニットの総台数が温度表示部に表示されます。1台接続の例 **01**

- 接続台数が誤っている場合は接続不良、アドレス設定不良、ノイズなどによる伝送異常が考えられます。この場合一度電源を切り、次の箇所を点検してください。  
 (元電源のON-OFFは短時間(10秒以内)に繰り返さないでください。)
- ① 室内ユニットの電源入れ忘れ、または電源配線不良。
- ② 室内ユニット間ケーブル、またはリモコンケーブルの接続不良。
- ③ ロータリースイッチ設定誤り(設定が重複している)。

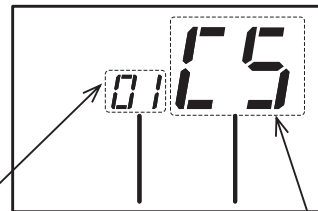
注意 試運転時の運転モードはハーフサイズリモコンに記憶されるため、試運転後に併用する集中制御機器、リモコンスイッチなどから運転モードを設定しないで運転すると、試運転時の運転モードで運転を開始します。試運転後は必ず上記機器または4. 機能選択(運転モード切換操作制限の02:操作制限なし)によりお望みの運転モードを設定してください。

## 4. 機能選択

- 1) 機能選択モードへの切り換え  
 エアコン停止中に、「運転切換」スイッチと「風量」スイッチを同時に3秒以上押してください。  
 機能選択モードに切り換わると、右図のような表示に切り換わります。
- 2) 設定項目と設定内容の変更  
 設定項目を表示している状態で「V温度調節」スイッチを押すと設定項目が切り換わります。  
 また「温度調節入」スイッチを押すことにより、設定項目の設定内容が切り換わります。  
 設定項目と設定内容については下表を参照してください。
- 3) 機能選択モードの解除  
 2) 項の状態では「運転切換」スイッチと「風量」スイッチを同時に押すと通常状態に戻ります。



「運転切換」スイッチと「風量」スイッチを同時に3秒以上押す。



②「温度調節入」スイッチを押すごとに、設定内容が変化します。

①「V温度調節」スイッチを押して設定する項目を選択します。

### ●機能選択設定項目

設定項目	名称	設定内容	設定
b 1	暖房設定温度補正解除	0 0 : 通常 (設定温度 + 4℃、但し、ゆかおき、大型ゆかおきは + 2℃) 0 1 : 解除 (設定温度) 0 2 : 設定温度 + 2℃ ※ 1	
b 8	冷暖自動機能	0 0 : 無効 0 1 : 有効	
C 5	室内ファン増速	0 0 : 無効 0 1 : 増速 1 0 2 : 増速 2	
C 8	リモコンサーモ ※ 2	0 0 : 無効 0 1 : 室内吸込サーミスタをリモコンサーモに切り換え 0 2 : 室内吸込サーミスタとリモコンサーモの平均値で制御	
F 2	リモコンスイッチ親子設定	0 0 : 親設定 0 1 : 子設定	
F C	設定温度冷房下限値 ※ 3	0 0 : 標準設定温度範囲 0 1 ~ 1 0 : 冷房下限値 + 1℃ ~ + 1 0℃	
F d	設定温度暖房上限値 ※ 4	0 0 : 標準設定温度範囲 0 1 ~ 1 0 : 暖房上限値 - 1℃ ~ - 1 0℃	
H 1	メンテナンス警報表示 ※ 5	0 0 : 表示 0 1 : 非表示	
H 2	運転制限中非表示	0 0 : 表示 0 1 : 非表示	
H 3	運転モード切換操作制限 ※ 6	0 0 : 運転モード切換不可 (運転モード非表示) 0 1 : 集中制御機器で設定した運転モード + 「送風」 0 2 : 操作制限なし	
H 4	換気切換設定	0 0 : 空調単独 0 1 : 換気単独 0 2 : 空調 + 換気	
H 5	強制停止中の集中制御機器操作 ※ 6	0 0 : 無効 0 1 : 有効	

※ 1. “0 2” の設定は室内ユニットの種類により設定できない場合があります。

※ 2. リモコンサーモ機能をご使用される場合は、リモコンスイッチ表面に貼り付けてある保護シートを剥がしてください。ナイトテーブル取付時は“0 0”の設定でご使用ください。

※ 3. 運転モード「送風」「冷房」「ドライ」に適用

※ 4. 運転モード「暖房」に適用

※ 5. メンテナンス警報の非表示設定は、集中制御機器等のコントローラでメンテナンス警報を表示する場合に限り設定してください。

※ 6. “0 1” の設定は1リモコンに限り有効です。2リモコン (親子リモコン) の場合は設定しないでください。

- ご注意**
- 室内ユニットを複数接続している場合、全室内ユニット同一設定となります。
  - 設定の変更は、電源投入から3分以上経過後に行ってください。
  - 室内、室外ユニットの種類により設定できない項目、設定してもユニットが機能を有していない項目等がありますので、設定前に必ずご確認ください。
  - 表内の設定欄に、各機能選択の設定内容を記入してください。

北海道営業所 (011) 717-5301

北日本支店 (022) 266-1321

福島営業所 (024) 921-5550

関東支店 (03) 6403-4511

北陸支店 (076) 429-4051

中部支店 (052) 251-0371

関西支店 (06) 6531-9111

中四国支店 (082) 240-6151

四国営業所 (087) 833-8701

九州支店 (092) 561-4851

製造販売元：日立アプライアンス株式会社 空調事業部

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号 (ニューピア竹芝サウスタワー)